

「ことばのカトリアル第 13 号」 「『日中植林・植樹国際連帯事業』2019 年度中国高校生訪日団」交流

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 日時 | 令和元年9月6日(金) |
| 2 | 事業名 | 「日中植林・植樹国際連帯事業」2019 年度中国高校生訪日団 |
| 3 | 主催 | 公益財団法人 日中友好会館 |
| 4 | 趣旨等 | 青少年等の交流を通じた環境及び防災意識の啓発と対日理解の一層の推進、砂漠化防止等への貢献を図ることで、中国との関係改善の流れを強化し、国際社会の課題に対処することを通じて「戦略的互惠関係」の強化につなげていく。 |



2年1組 西上 喜一

今回の交流では、中国の高校生が海洋高校に来てくださった。

私は、今回国際交流ができてとても感動した。私は海外に少し興味がある。外国にも行ってみたいと思うことがよくあり、外国人との交流に憧れを感じた。それと同時に、私の英語力はまだまだだと痛感した。中国の高校生は同じ高校生と思えないくらいに英語を流暢に話していた。中国の高校生が、普段どのようなカリキュラムで学習しているのかは分からないが、鍛え上げられた英語力がそこにはあった。その英語力に憧れと同時に、自分の英語力のなさに対しての情けなさがあった。この国際交流を機会に、私自身の英語力を伸ばしていきたい。

海洋高校には、海洋高校以外の人たちとの交流や発表などの機会が多くあるが、日本以外の人と交流する機会は少ないと思う。今回、中国の高校生と交流発表するという、とても貴重な体験ができて嬉しく思う。今まで私が知っていた世界がとても狭いことを感じる事ができた。また、外国の人と交流する機会があれば、今回よりも成長した私で接していけたら嬉しい。

3年1組 石川 陸斗

歓迎式典では、自分たちの学校紹介を行った。英語での紹介だったが、詰まらずに行うことができ、自信にもつながったと思う。中国の方々は思った以上に社交的で、1つ質問をするだけでも多くの返答があった。また、反応もよく、話しやすかったので、自分も見習うべきだと思った。披露された踊りは、日本とは違った音楽や衣装があり、中国の文化を知るよいきっかけになったと思う。中国の方々と話すときは、英語を使っていたが、中国の方々は英語が上手でとても驚いた。それに対して自分は、聞き取ることはできても、うまく会話として返答することができず、スピーキング能力に欠けていることを痛感した。

しかし一番大切なことは、伝えようとする気持ちだと思う。

英語ではあまり伝わってなくても、ジェスチャーを交えて話すことで、会話を続けることができると思った。今回は諦めずに何とか伝えようという気持ちで交流できたと思う。閉会式では、中国の方々の表情が最初より和らいでいたので、今日一日を楽しんでもらうことができたと感じた。



3年1組 中谷 圭

今回は中国の高校生と国際交流を行いました。国際交流は今回が2回目でした。

中国の高校生は、前情報として英語ができると聞いていたのですが、思っていたよりもうまく、また本校の先生方の英語を理解しており、リアクションもとてもよい印象でした。今回の国際交流をする前に、日本人は恥ずかしがることが多いと聞きました。たしかにそのとおりだと感じました。海洋高校で過ごす中で、さまざまな実習やボランティア活動を通じ、コミュニケーション能力が向上しているのではと思っていたのですが、まだまだでした。相手は常に笑顔で受け応えをしていました。そこが一番大切だと、見ていて感じ、笑顔で接するようになると、相手もより笑顔になってくれました。ゆっくり話すことはできませんでしたが、それでも得るものもありました。

これからますます国際化が進んでいきます。その中で今回のような国際交流を行うことは大きな力になると感じています。高校の国際交流としては今回で最後ですが、これから大学などで機会があれば、積極的に参加をしていきたいと考えています。

